

### 委員

①清水ヶ丘在住というのもあり、高齢者の外出手段の確保の必要性を感じています。実現には防犯や保険など様々な課題がありますが、予定の無い時に近所の方を送迎するといった地域内での共助を促進する取組はいかがでしょうか。私自身はそういった活動に抵抗なく協力できると考えています。そういった活動に町行政が介入して、共助の輪が広まっていけば理想的だなと思いました。

### 事務局の見解

①現在、日本の過疎化の進む中山間地域にて、一般のドライバーが自家用車を活用して有償（低廉な運賃）運送を行う事業が各地で導入されてきています。現時点で有償運送の許可が国土交通省から下りる地域は限定されています。委員ご指摘の共助のシステムは今後広まりを大きくしていくと考えられますので、一般のドライバーが自家用車を活用して行う交通モードについて、各自治体での導入状況を注視していきたいと考えています。

### 委員

②バスシェルターの設置について、特に高齢者にとってバスを待つ際の雨や強い風の影響は大きいため、急務であると考えます。

### 事務局の見解

②委員ご指摘のとおり、改訂後の府中町地域公共交通計画においては、バスシェルターの設置を施策として掲げ計画的に設置を進めていく予定であり、利用者の多いバス停から年1か所ずつ整備予定です。

### 会長

③15ページに「公営住宅を適切に配置することに・・・進めます。」の一文ですが、府中町は人口比で見ても公営住宅は少ないです。公営住宅への公共交通はどうするのか、という議論にも発展する可能性もあるので、掲載しないほうが良いような気がします。

### 事務局の見解

③15ページは府中町第4次総合計画の中で、公共交通に関係のある部分を抽出し掲載するものです。ご指摘のとおり、当該部分は公共交通に関連が小さいため削除します。またその他の部分についても公共交通に関係のない文言については掲載の有無を検討いたします。

### **委員**

④P.44 地域公共交通の課題―⑤「広島県地域公共交通ビジョンと連携するなどして～」とありますが、”連携”とは具体的にどのような連携を想定していますでしょうか。

### **事務局の見解**

④全国的にバスやタクシーの運転手の不足および高齢化が著しく顕在化した場合には、広島県地域公共交通ビジョンに掲げられた施策と連携するとともに、府中町公共交通協議会でも議論を行い、施策を検討したいと考えています。

### **委員**

⑤P.50～51 評価指標の目標値に対応する現況データについて古いもの（H31.1月）も散見されます。新しい現況データとの比較が出来れば、より実態に合った目標になると考えますがいかがでしょうか。

### **事務局の見解**

⑤H31.1月のデータが現況値となっている目標値に関しては、当時の住民に対するアンケート結果が数値の根拠になっています。今回の改訂にあたりアンケートの実施を検討しましたが、まだコロナ禍の影響が強く残っていることなどから、アンケートを実施しても有益な結果が得られないと考え実施しませんでした。なお今後、計画評価時にアンケートを実施します。

### **委員**

⑥P.54 つばきバス以外の路線バスに関する、確保・維持策の記載欄に”一定以上の運行水準”とありますが、具体的にはどのような水準を想定されていますでしょうか。

### **事務局の見解**

⑥現時点のダイヤおよびルートを維持することが理想的ではありますが、近年の公共交通を取り巻く環境を考慮するとその維持は難しくなっています。そのため必要があれば減便なども検討する必要性が将来的に生じるかと思いますが、その際はバス路線毎に、その時点での、一定の運行水準について、公共交通協議会において慎重に議論すべきであると考えています。

### **委員**

⑦P.58 イメージ図について、施策タイトルに交通結節機能の強化とありますので、結節点をイメージ出来るような上屋や待合施設などを図に示してみたいでしょうか。

### **事務局の見解**

⑦委員ご指摘のとおり現在の図には、上屋などのハード面の描写をしておりません。ただ交通結節機能の強化を図るためには、上屋等の整備も必要となりますので、向洋駅へのバスの乗り入れを考える際には、合わせて交通結節点のハード面についても検討していきたいと考えています。